

仙台特区

vol.1

特集

仙台市が目指す
日本一起業しやすいまちへ

Social Innovation SENDAI

復興に挑む起業家たち

震災後、地域のため、社会のために起業する、いわゆる社会起業家が増えています。未曾有の大災害に直面し、様々な課題が表れる中で、「何かできることをしたい」、「誰かの支えになりたい」という人々の切なる思いが、起業という形で結実したのではないかと考えています。

仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」には、日々多くの起業相談が寄せられています。平成26年度には、前年比275%の1,036件の相談件数を記録し、27年度はこれをさらに上回る勢いです。

女性の相談が急増しているのも大きな特徴の一つです。身近なところから課題を発見し、仕事にすることが得意な女性が多いのかもしれない。

本市では、小さな志の芽をもつ皆さんが、まちの新たな活力になり始めています。

「社会起業都市 仙台」に向けて

平成27年8月、本市は、我が国の「女性活躍・社会起業のための改革拠点」として、国家戦略特区に指定されました。NPO法人の設立手続

きの迅速化などの特区制度を活用しながら、起業家の皆さんをさらに応援していきます。

日本はいま、人口減少社会に突入し、少子高齢化などに伴い様々な課題が顕在化しつつあります。とりわけ東北地方は、これらの課題の先進地域であり、東日本大震災によって、事態は一層深刻化しています。

このような状況に対処するためには、行政のみならず、社会起業家をはじめ、パブリックマインドをもつ民間セクターの皆さんの力を結集することが不可欠です。従来から盛んだった市民活動の取り組みが、震災からの復興の大きな推進力となった本市には、「社会起業都市 仙台」として、その先進モデルを示すポテンシャルが大いにあると考えています。

仙台で一緒に挑戦しませんか

仙台市国家戦略特区（仙台特区）では、社会起業のほかにも、様々な分野で規制改革を進め、課題解決に取り組んでいきます。

例えば、これまで行政が管理していた公共空間を、民間の皆さんにセンス良く大胆に利活用してもらうことも考えています。道路にオープン

カフェを設置して、人と人、お店とお店をつなぐパブリックスペースを設けてみたり、公園に保育所やカフェを作って、公園利用者の皆さんと子どもたちが交わる新たな仕掛けを作ってみたり。本市には、使い方次第で、エリア一帯、まち全体の価値を高める都市資源がたくさんあると考えています。

ほかにも、医療や子育て、あるいは自動運転車やドローンの活用など、あらゆる角度から積極的に規制改革に取り組み、絶えず新たなイノベーションが生まれる、創造性にあふれるまちを実現していきます。

私たちは仙台で新たに挑戦する人を歓迎し、全力で応援します。市内外から一人でも多くの皆さんが、仙台特区を使って、ともに未来を変える担い手となりますことを心より願っています。



仙台市長 奥山 恵美子 (おくやま えみこ)



特集 1

起業したいあなたの味方!

アシ☆スタ はあなたの起業を 全力でアシストします!

起業を目指す方の強い味方、 アシ☆スタにおまかせ!!

平成26年1月30日にスタートし、3年目を迎えた『仙台市起業支援センター“アシ☆スタ”』は「こんなサービスを事業化すれば利用する人がいると思う!」「起業したいけれど進め方が分からない」「起業したけれど思うようにいかない…」そんな想いをもつ方の味方になる施設。親身な窓口相談や、課題や段階に応じたテーマで開催するセミナー、同じ想いをもつ仲間との交流、情報発信等を通じて、起業を目指す方々を力強くサポートします。事業構想の段階から起業の準備、起業後の課題解決まで、幅広く支援を行っています。

会員登録で施設利用料無料、 アシ☆スタ交流サロン

仙台、宮城で起業を志す方々がつながり、アイデアをビジネスへと成長させる場として、平成27年10月26日、仙台駅前AER7階に、アシ☆スタ交流サロンがオープンしました。サロンは、カフェのような明るい雰囲気オープンスペースをはじめ、ミーティングスペースや相談スペース、お子さま連れの方も安心なキッズスペース、約200冊の起業関連図書コーナーも完備しています。インターネットを無料でご利用いただけるWi-Fi環境も整備。アシ☆スタを活用しながら夢やアイデアをカタチにしてみませんか。

女性の起業を応援します! まずはセミナーやイベントへ

起業を考えている女性におすすめなのが、託児サービス付き(有料)の女性対象のセミナーや交流イベント。同じ志をもつ仲間との出会いや、少し先を歩む先輩のリアルな体験談は元気と勇気をくれます。あなたも一歩、踏み出してみませんか。

仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」

TEL:022-724-1212

●営業時間/平日 8:30~17:00

(交流サロンは9:00~/土日・祝・年末年始除く)

●MAIL:shienka@siip.city.sendai.jp

●所在地:仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階

(公益財団法人 仙台市産業振興事業団 内)

<http://www.siip.city.sendai.jp/assista/>

起業は最初が肝心。是非お手伝いさせてください!

アシ☆スタは、事業規模の大小に関わらず、きめ細やかにサポートします。利用者は着々と増え、実際に起業した方も大幅に増加中です。特に女性の起業のアイデアには驚かされることが多く、私たちもワクワクします。今後は、開業手続きのワンストップ化を目的とする『(仮称)起業ワンストップ支援センター』も設置予定。さらにバックアップ体制が整います。「小さく始めて大きく育てる」が起業のセオリーなので、スモールビジネス相談も歓迎です。相談は遅すぎはあっても早すぎはありません。お気軽にご利用ください。

仙台市起業支援センター アシ☆スタ 赤羽 優さん

雇用労働相談センターの 設置が決まりました。

創業後間もないNPO法人や企業等における労働紛争を未然に防ぐため、雇用ルールに詳しい弁護士や労務管理に詳しい相談員が、各種相談サービス等を行います。平成28年6月より、アシ☆スタ交流サロンに併設される予定です。



特区制度でNPO法人の設立認証手続き期間が短縮!

NPO法人を設立した方にお話をお聞きしました。

「してもらう防災」から「自ら行う防災」へ。
NPO 法人格取得を新たな力に、浸透に努めます。

Q.『SONAE防災研究所』はどのような団体なのですか?

A.スタートは東日本大震災発生3年前です。「宮城県沖地震の発生確率・約99%」に危機感を抱き「究極の福祉は防災」との想いを共有する者たちで、避難所運営ゲーム(HUG)を仙台市内で実施し、啓発活動を行ってきました。その時のメンバー(仙台市小学校校長退職者、避難所を担当する元行政職員、大学教員等)を中心に、講演活動などを行っています。防災減災意識を市民により浸透させるためには、講義形式だけではなく、ゲームを取り入れたワークショップが効果的だと考え、前述のHUGやクロスロードゲーム、避難所活動班イメージトレーニング(KIT)を行っています。

Q.なぜNPO法人化したのですか?

A.私たちの活動の役割上、組織として社会的な信頼を得ることが必要だと感じたため



です。これまで私たちが「間」に入って、町内会や避難時に支援が必要な方の情報をもつ民生委員、行政との融合を促してきました。震災の教訓をより広く伝えていくことが重要だという点からも、NPO法人格の取得が最適だと考えました。

Q.手続き期間が従来の約半分に短縮される特例の下でNPO法人を立ち上げたことですが、実際の手続きはいかがでしたか?

A.昨年8月末から申請書類の作成に着手しましたが、市民協働推進課の方々が、書類の案を丁寧にチェックくださり、スムーズに進めることができました。書類は9月中旬にほぼ整いましたが、設立認証手続きの期間が短縮される特例の説明を受け、9月24日に申請。特例適用前だと、認証までに最長4ヵ月かかったもので、本当に助かりました。手続き初心者の方には最良の環境でした。

Q.期間短縮はどんなメリットがありましたか?

A.認証の結果を待たなければ、取りかかれない作業が色々あります。長期間待つことは事業を進める上で辛く、早く結果が出れば二の足を踏まずに次を考えられます。私た



NPO法人 SONAE防災研究所
代表理事

古橋 信彦さん

仙台市避難所運営マニュアル作成支援アドバイザー
仙台市要援護者支援体制づくり支援アドバイザー

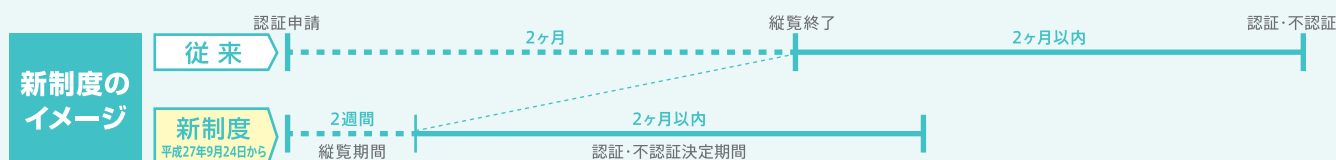
ちの場合は11月9日に認証され、次年度計画をスムーズに行うことができたので、大きなプラスになりました。

Q.今後、どのような活動を行っていきたいと考えていますか?

A.仙台市が進めている指定避難所毎の運営マニュアルづくりの支援を、講座実施を通して進めてまいります。また、日常的にメンバーの研修を行い、質の高い講座を提供できるようにしたいと考えています。防災は自己防衛、主体的に自分の身を守ることが基本です。「してもらう防災」から「自ら行う防災」へ。どうすればよいかを具体的に伝えていけるよう、努力してまいります。

NPO法人の設立認証手続き期間を約半分に短縮しました。

社会起業の重要な担い手であるNPO法人の設立を促進するため、その設立認証手続きにおける申請書類の縦覧期間を、全国で初めて、2ヵ月から2週間に短縮しました。これにより、従来の約半分の期間での法人設立が可能となっています。





特集 3

社会起業を志す方々を応援!

Sendai Social Innovation Night レポート



一般社団法人RCF
代表理事 藤沢 烈さん

平成28年1月29日、起業家支援の新たな拠点となる『INTILAQ(インティラック)東北イノベーションセンター』が誕生。オープニングイベントの中で、社会起業を志す方々の交流を目的とする「Sendai Social Innovation Night」が開催されました。司会は、一般社団法人RCFの代表理事で、被災地を中心に社会事業コーディネーターとして活躍されている藤沢 烈(ふじさわ・れつ)さん。亶理町出身で昨年5月に株式会社WATALISを設立した引地 恵(ひきち・めぐみ)さん、東日本大震災緊急支援活動をきっかけに公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンを設立した奥野 慧(おくの・さとし)さんの貴重なトークで、社会起業家や社会起業を目指す方が

社会起業を目指す人の背中を押す先輩からの熱いメッセージ。

集まった会場は大いに盛り上がりました。引地さんは震災後、亶理町に古くから伝わる、米などを詰め感謝を伝えた着物地の巾着「ふぐろ(袋)」をリ・デザインし、蘇らせることにより商品価値を高め、「FUGURO」として販売につなげた活動から、地元の方々とつながり、ビジネスのあり方や厳しさ、株式会社設立までを語っていただきました。奥野さんは、被災地の子どもたちに学ぶ

機会を提供し、地元の学校外教育機関の支援にもなる、パウチャー券を使用した活動の内容を紹介。大学在学中から、起業を志しつつも何度も挫折し、現在に至った経緯もユーモアを交えてお話くださいました。

なぜ起業をあきらめなかったかとい



公益社団法人
チャンス・フォー・チルドレン
代表理事 奥野 慧さん

う質問に「当初、挑戦は逃げだったかも。でも、次に行動する時に応援してくれる人がいました。今は必要としている子どもたちがいるから、逃げちゃいけないと思います」と奥野さん。引地さんは「今、仙台にいただけで恵まれています。起業したいなら、あとはやるだけ。ぜひチャレンジしてほしいです」と笑顔でエールを送ってくれました。



株式会社WATALIS
代表取締役 引地 恵さん

INTILAQ(インティラック)
東北イノベーションセンター

TEL:022-357-0543

●営業時間/【月~金】9:00~21:00
【土】9:00~18:00(日・祝は休み)

●MAIL:info@intilaq.jp

●所在地:仙台市若林区卸町2-9-1
http://www.intilaq.jp/

お問い合わせ

仙台市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト推進課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

〈電話〉022-214-8561 〈FAX〉022-214-8037 〈E-mail〉sendai-tokku@city.sendai.jp

国家戦略特区の概要や仙台市の取り組みについては、仙台特区ウェブサイトをご覧ください。
仙台特区ウェブサイト <http://sendai-tokku.jp/>

